

# auAM Nifty50インド株ファンド

追加型投信／海外／株式／  
インデックス型

# Nifty 50 INDEX



※ファンド名称のauAMはauアセットマネジメントの略称です。

## auAM Nifty50インド株ファンド

第1期(決算日 2024年8月28日)

(作成対象期間 2023年8月29日～2024年8月28日)

### 受益者の皆様へ

平素より格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。当ファンドは、auAM Nifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、基準価額がNifty50指数(配当込み)を円換算した値動きに概ね連動することをめざしております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## auAM Nifty50インド株ファンド

第1期末(2024年8月28日)		第1期	
基準価額	12,148円	騰落率	21.5%
純資産総額	6,544百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

### 「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

右記のURLにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「商品名」から当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

## auアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区西神田三丁目2番1号



ホームページ

<https://www.kddi-am.com/>

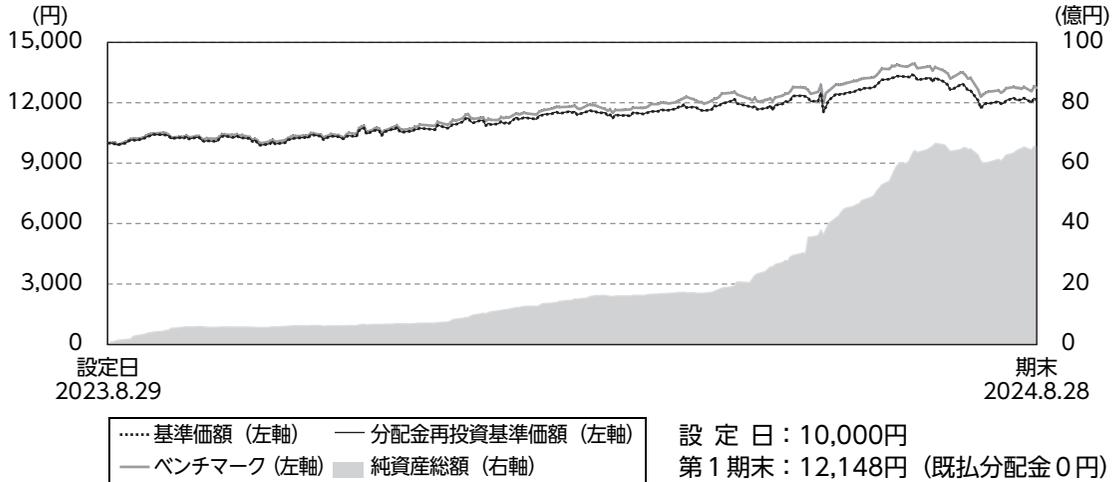


お問い合わせ先 03-5657-7185

(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

## ■運用経過

### □基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークは、設定日を10,000として指数化したものです。

\*ベンチマークはNifty50指数(配当込み、円ベース)です。

### □基準価額の主な変動要因

auAM Nifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、基準価額がNifty50指数(配当込み)を円換算した値動きに概ね連動することをめざした運用を行った結果、当期の基準価額・分配金再投資基準価額は21.5%上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

□ 1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2023.8.29~2024.8.28)		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
運用管理費用 (信託報酬)	34円	0.297%	運用管理費用(信託報酬) = 当期中の平均基準価額 × 信託報酬率 <b>当期中の平均基準価額は11,368円です。</b> 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	( 19)	( 0.165)	
(販売会社)	( 13)	( 0.110)	
(受託銀行)	( 3)	( 0.022)	
売買委託手数料	96	0.845	売買委託手数料 = 当期中の売買委託手数料 / 当期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	( 96)	( 0.845)	
有価証券取引税	-	-	有価証券取引税 = 当期中の有価証券取引税 / 当期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.012	その他費用 = 当期中のその他費用 / 当期中の平均受益権口数 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に関するその他の費用
(保管費用)	( 1)	( 0.006)	
(監査費用)	( 1)	( 0.011)	
(その他)	(△ 1)	(△0.005)	
合計	131	1.153	

(注1) 当期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

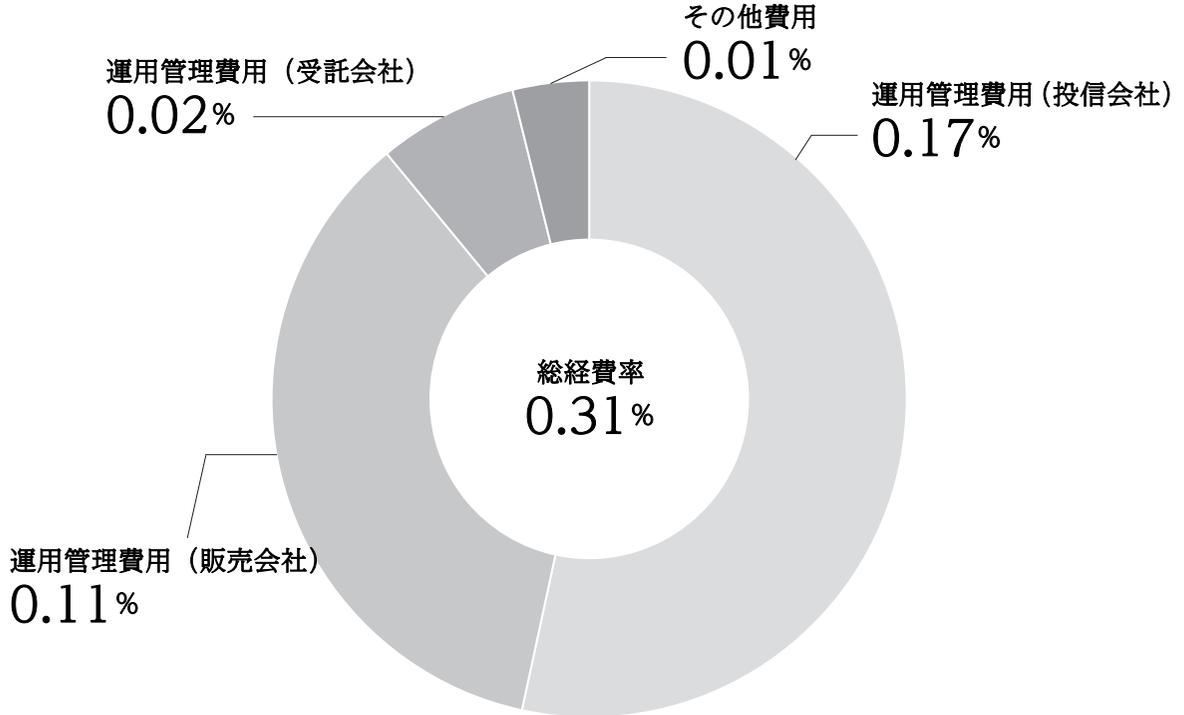
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.31%です。**

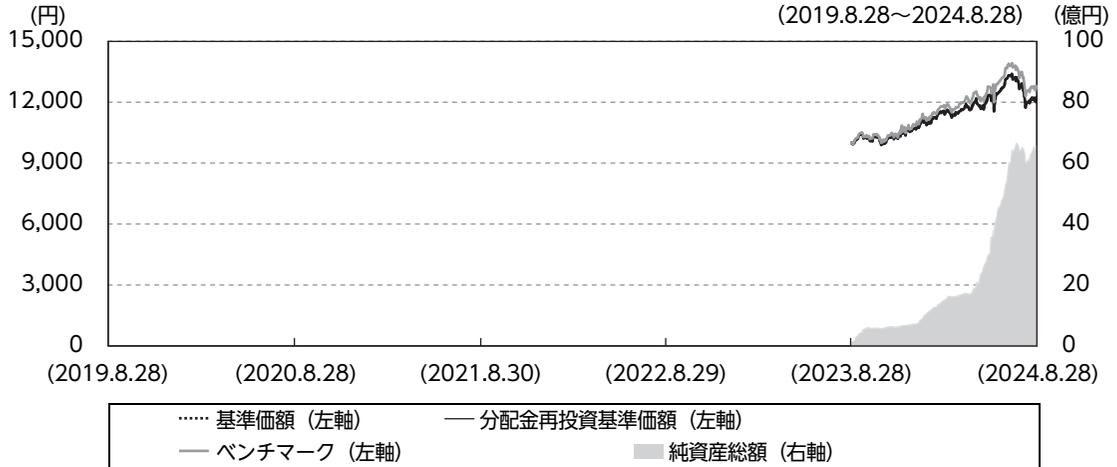


(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

□最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークは、2023年8月29日を10,000として指数化したものです。

		2023年8月29日 設定日	2024年8月28日 決算日
基準価額	(円)	10,000	12,148
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	21.5
ベンチマーク騰落率	(%)	—	27.5
純資産総額	(百万円)	81	6,544

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 騰落率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注3) ベンチマークは、Nifty50指数(配当込み)をもとに円換算し、auアセットマネジメントが計算したものです。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

---

**□投資環境について**

(2023年8月29日～2024年8月28日)

**<株式市況>**

インド株式市場は上昇しました。

期初は同国の成長期待などを背景に株式市場は堅調に推移しました。9月後半から10月末にかけては、米国の金融引締め長期化懸念から米国を中心とした金利上昇、株価下落の流れが加速し、インド株式市場も下落しました。しかし11月に入るとグローバル金利は一転して低下基調となり、世界的に株高・債券高が進行すると、インド株式市場も再び上昇に転じ、その後は翌2024年5月まで堅調に推移しました。2024年6月4日には下院総選挙の開票が行われましたが、BJPが議席を大幅に減らしたことで、インド株式市場は一時急落しました。しかしその後、連立与党の支持を受けて第3期モディ政権が発足する見通しとなったことで不安は後退し、再び上昇に転じました。期末にかけては、8月初の世界的な株価急落局面ではインド株式市場も一時的に下落したものの、概ね堅調な推移が続きました。

## □ポートフォリオについて

## &lt;当ファンド&gt;

当ファンドの運用方針に基づき、auAM Nifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、基準価額がNifty50指数（配当込み）を円換算した値動きに概ね連動することをめざした運用を行いました。

## &lt;auAM Nifty50インド株マザーファンド&gt;

次のいずれかの運用方法、もしくは複数を組み合わせた運用方法により、Nifty50指数（配当込み）を円換算した値動きに概ね連動する投資成果をめざした運用を行いました。選択する運用方法、運用方法の組み合わせは、効率性等を勘案の上、決定しました。

ア. 株価指数先物取引を利用する方法

イ. 指数連動有価証券に投資を行う方法

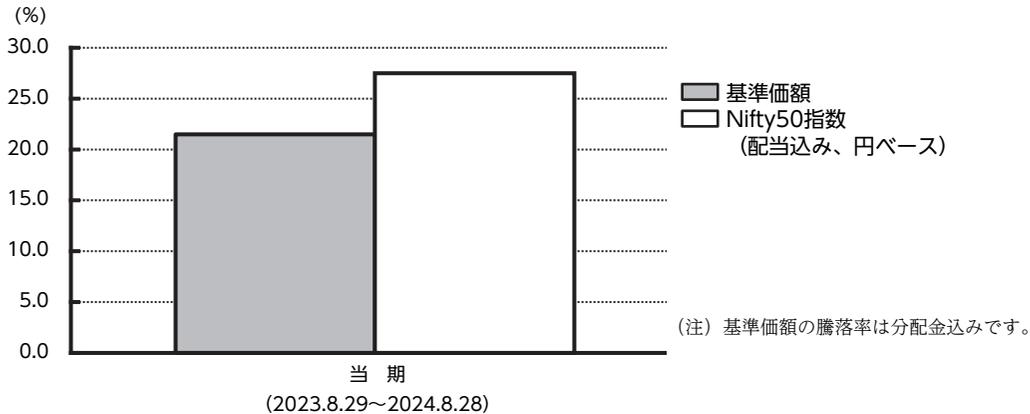
外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんでした。

## □ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は27.5%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は21.5%となりました。

先物取引の影響や運用管理費用等のコストが、かい離の要因として挙げられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



\*ベンチマークはNifty50指数（配当込み、円ベース）です。

## □分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

<分配原資の内訳（1万口当り）>

項目	当期
	2023年8月29日~2024年8月28日
当期分配金（税引前）（円）	0
（対基準価額比率）（%）	(0.00)
当期の収益（円）	-
当期の収益以外（円）	-
翌期繰越分配対象額（円）	2,147

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■今後の運用方針

<当ファンド>

当ファンドの運用方針に基づき、auAM Nifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、基準価額がNifty50指数（配当込み）を円換算した値動きに概ね連動することをめざします。

<auAM Nifty50インド株マザーファンド>

次のいずれかの運用方法、もしくは複数を組み合わせた運用方法により、Nifty50指数（配当込み）を円換算した値動きに概ね連動する投資成果をめざした運用を行います。選択する運用方法、運用方法の組み合わせは、効率性等を勘案の上、決定します。

ア. 株価指数先物取引を利用する方法

イ. 指数連動有価証券に投資を行う方法

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## ■お知らせ

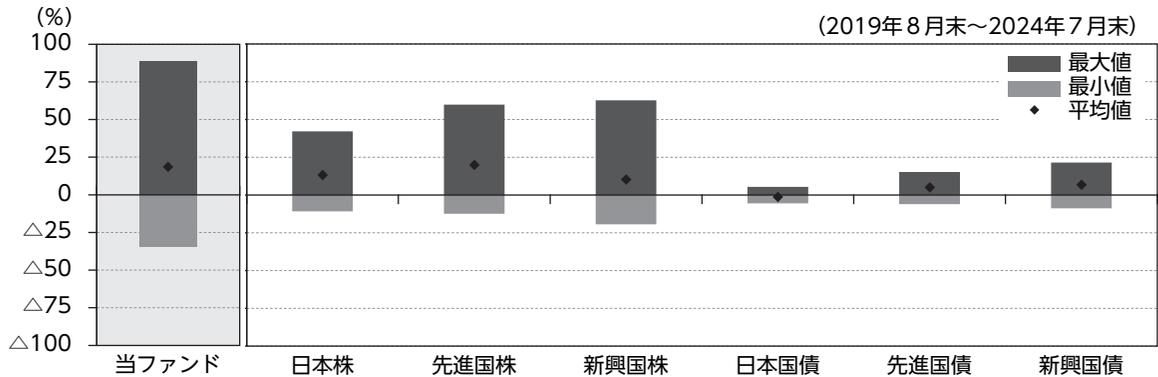
該当事項はございません。

## ■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	auAM Nifty50インド株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、基準価額がNifty50指数（配当込み）を円換算した値動きに概ね連動することをめざして運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	auAM Nifty50インド株マザーファンドの受益証券
	auAM Nifty50インド株マザーファンド	株価指数先物取引、外国為替先物取引、外国為替予約取引、指数連動有価証券、内外の短期国債
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、基準価額がNifty50指数（配当込み）を円換算した値動きに概ね連動することをめざします。</p> <p>②なお、デリバティブ取引は、信託財産の資産または負債にかかる価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。また指数連動有価証券を通じた実質的な取引においても同様とします。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①次のいずれかの運用方法、もしくは複数を組み合わせた運用方法により、Nifty50指数（配当込み）を円換算した値動きに概ね連動する投資成果を目指します。選択する運用方法、運用方法の組み合わせは、効率性等を勘案の上、決定します。</p> <p>ア．株価指数先物取引を利用する方法</p> <p>イ．指数連動有価証券に投資を行なう方法</p> <p>なお、デリバティブ取引は、信託財産の資産または負債にかかる価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。また指数連動有価証券を通じた実質的な取引においても同様とします。</p> <p>②外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。なお、外貨エクスポージャーの調整を目的として、外国為替先物取引や外国為替予約取引等を適宜活用する場合があります。</p>	
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分配対象額は、経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を含みます。）および売買益（評価益を含みます。ただし、マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を除きます。）等の全額とします。</li> <li>・原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</li> </ul>	

当ファンドは、NSE INDICES LIMITEDが発起、保証、販売または販売促進を行っているものではありません。NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの所有者または一般のいかなる人に対しても、有価証券全般または当ファンドへの投資の妥当性、あるいはNifty50指数のインド株式市場全体のパフォーマンスへの連動性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証を行いません。NSE INDICES LIMITEDとauアセットマネジメント株式会社との関係は、NSE INDICES LIMITEDが、auアセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に決定、構築および算出を行う指数と指数に関連する商標および商号についての使用を許諾することだけでしかありません。NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数の決定、構築および計算に関して、auアセットマネジメント株式会社または当ファンドの所有者の要望を考慮する義務を負いません。NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの設定に関してその時期、価格もしくは数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与もしていません。NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの管理、販売または取引に関していかなる義務または責任も負いません。NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数とそれに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではなく、その誤り、欠落、障害に対していかなる責任も負わないものとします。NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数またはそれに含まれるデータの利用により、auアセットマネジメント株式会社、当ファンドの所有者、またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。NSE INDICES LIMITEDは、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつNifty50指数またはそれに含まれるデータに関して、商品性または特定の目的または使用に対する適合性のすべての保証を明示的に否認します。上記に関わらず、NSE INDICES LIMITEDは、いかなる直接的、特別の、懲罰的、間接的または結果的損害（逸失利益を含む）も含めて、本ファンドに起因または関連するあらゆる請求、損害または損失について、たとえそれらの可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

## ■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	18.6	13.2	19.9	10.3	△1.3	5.0	6.7
最大値	88.5	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△34.2	△10.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。このため、決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社JPX総研
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み/円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み/円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本/円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）	J.P. Morgan Securities LLC

※上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

## ■ファンドデータ

### □当ファンドの組入資産の内容

#### ○組入ファンド等

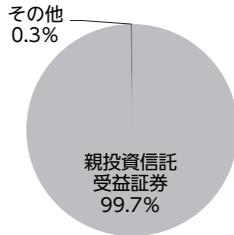
	比率
auAM Nifty50インド株マザーファンド	99.7%
その他	0.3%
組入ファンド数	1 ファンド

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 上記データは2024年8月28日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページ以降の「組入ファンドの概要」に、その内容を掲載しています。

### □純資産等

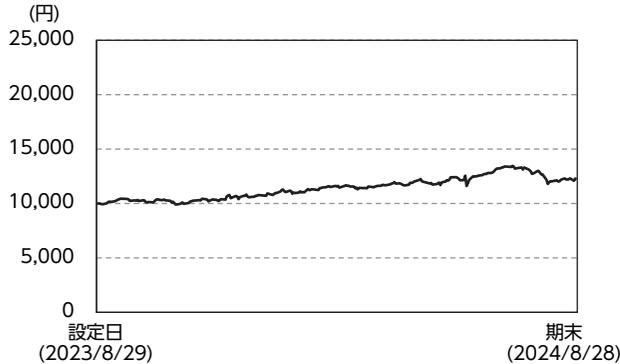
項目	当期末
	2024年8月28日
純資産総額	6,544,240,623円
受益権総口数	5,387,295,435口
1万円当たり基準価額	12,148円

(注) 当期中における追加設定元本額は7,061,286,532円、同解約元本額は1,755,580,755円です。

□組入ファンドの概要

auAM Nifty50インド株マザーファンド

○基準価額の推移について



○1万口当たりの費用明細

(2023年8月29日～2024年8月28日)

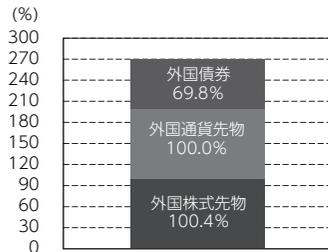
項目	当期
	金額
売買委託手数料 (先物・オプション)	95円 ( 95)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 ( 1)
(その他)	( 0)
合計	95

(注) 項目等詳細につきましては運用報告書(全体版)に記載しております。

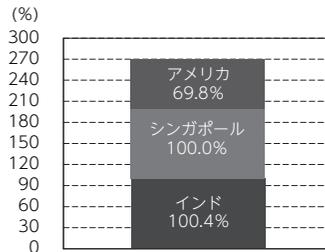
○組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
IFSC NIFTY 50 FUT	アメリカ・ドル	100.4%
INR/USD	アメリカ・ドル	100.0%
TREASURY BILL 0.0% 2024/10/31	アメリカ・ドル	46.0%
TREASURY BILL 0.0% 2025/1/30	アメリカ・ドル	23.8%
組入銘柄数	4銘柄	

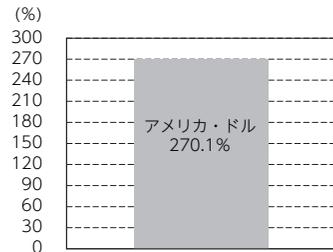
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上記データは2024年8月28日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。